



創造みらい半田 岩田玲子

### 小学校のプール授業

**問** プールの授業は梅雨の時期と重なり、年に2回しか行えない学年がある等、天候に左右されることが多く不安定です。また、天気が良い日のプールサイドは熱くなり裸足で歩くのは危険な状況です。他にも、プールの老朽化が進行し、水漏れ等の影響により、教員による管理は年々大変になっていますが、そのような声は届いていますか。

**答** 天候に左右されることは把握しており、課題と考えています。また、老朽化による水漏れや、管理の負担増は把握しています。

**問** 各校で授業を実施する場合とふれあいプールや、民間スイミングスクールを利用した場合のコストを伺います。

**答** 小学校にプールを設置し、40年間利用することを想定し、維持管理や改修等に係るコストを比較した場合、外部委託のほうが、安価となる見込みです。

**問** 今後は、全ての学校で、天候に左右されずに、安全で、安心なプール授業が行われる環境を整えることが大切と考えます。水泳指導計画の今後の方針についてお伺いします。

**答** 小学校のプールを廃止し、水泳指導を民間事業者へ委託することは、教員の負担軽減に繋がるとともに、気候や天候に左右されない、安心で安全な授業の実施や質の高い水泳指導など、様々な効果が期待できます。現在は、成岩小学校、花園小学校、亀崎小学校について外部委託によるプール授業の実施準備を進めているところですが、その他小学校でも、学校の改築やプール改修が必要な学校から段階的に進めていきます。将来的には、市内全小学校のプールの授業の委託を実施していきます。



公明党 坂井美穂

### 養育費確保のための支援

**問** 半田市における養育費確保の支援の現状を伺います。

**答** 離婚届を取りに来られた方に「子どもの養育に関する合意書作成の手引き」を渡しています。また、父子母子自立支援員が助言を行っており、専門的な知識が必要な場合は、法テラスや養育費相談支援センターを案内しています。

**問** 養育費を取決めないという事態を回避するために、親の離婚を経験する子の福祉に関する情報や養育費を決めるための法的な知識を得られる「離婚前後の親支援講座」を開催するべきと考えますが、見解を伺います。

**答** プライバシーに配慮した現状の個別相談形式が望ましいと考えていますが、オンラインでの親支援講座について調査し、有用と判断できれば検討します。

**問** ADR（裁判外紛争解決手続）の活用を

促すことで、早期に解決し、養育費の取決め率アップに繋がると思いますが、見解を伺います。

**答** 早期解決や取決め率アップのために、ADRについて周知していきます。

**問** 取決めた養育費の不払い対策として、公正証書の作成や調停及び審判の費用、養育費保証会社の費用の補助を行うべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 離婚は親の意思によるものであり、養育費を得るために必要な経費は当事者が負担すべきものです。税を投じて補助する考えは持っていない。養育費保証会社については調査し、情報提供していきます。

**問** 疾患のある方や多様性（性）を尊重し、男性用トイレの個室にもサンタリーボックス（汚物入れ）を設置すべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 半田病院、市庁舎をはじめ、すべての公共施設の個室トイレに設置を進めていきます。



チャレンジはんだ 伊藤正興

### ネーミングライツへの取り組み

**問** 現時点でネーミングライツに対してどのような考えを伺いますか。今後、半田市もネーミングライツを早急に始めるべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 令和4年度に入り、市内の企業等の声を聞いたところ、一定のニーズがあることが分かったため、早急に導入できるよう、既にガイドラインの素案作成に着手したところです。現在、庁内の関連部署と連携し、制度設計を進めており、令和5年度開始に向けて取組んでいきます。

**問** 指定ごみ袋に関する利便性向上についての検討はどのように行われていますか。これまでに改善した点や、今後改善する予定はありますか。

**答** 令和3年4月から実施したごみの有料化に伴い、他の自治体の採用状況に加え、3Rアド

バイザーや市の公式LINE登録者へのアンケート及び資源回収ステーション利用者への聞き取り調査などを参考に検討を進めてきました。その結果、新たな改善点は、燃やせないごみについても指定袋制としたほか、手提げ袋型への変更、外国語表記ややさしい日本語とイラスト表記等を行いました。今後の改善に定めています。

**問** 現行のごみ袋のサイズより小さなサイズが必要と考えますが、今後、検討しますか。

**答** 現在、半田市の世帯の40%が単身世帯でサイズを検討していきたいと思えます。

**問** 半田市も地域の事業者と協力し、指定ごみ袋をレジ袋として活用することを提案しますが、見解を伺います。

**答** ごみ袋をレジ袋として活用することは、プラスチックごみの削減につながる有効な取組みの一つであり、今後、市内の指定ごみ袋等取扱店約180店舗へPRするなかで、協力を求めています。

